



2025-26 年度
福山西ロータリークラブ

例会情報

第 1647 回 (31)

会 長 河 村 直 孝 幹 事 小 林 崇

クラブ会長テーマ



「 明るく楽しくみんなで奉仕 」

日 時	2026 年 4 月 7 日 (火) 12:30 ~
場 所	福山ニューキャッスルホテル
例会行事	点 鐘 ・ ソング 「 君が代 ・ 奉仕の森 」 ゲスト ・ ビジターの紹介 (出席報告参照) 会 長 報 告 幹 事 報 告 出 席 報 告 S A A 報 告 ス マ イ ル 報 告 プ ロ グ ラ ム 情 報 そ の 他 報 告
その他情報	メークアップ情報 (来週分) メークアップ情報 (再来週分) 今後の行事予定 クラブ活動報告



**UNITE
FOR
GOOD**

【 会 長 報 告 】



皆様、こんにちは。本日も例会にご出席いただき、ありがとうございます。4月に入り残念ながら、せっかく咲いた桜が風雨でだんだん散り始めています。

一方で、新入社員らしい初々しいスーツ姿を見かけるようになり、社会全体が新しいエネルギーに満ちあふれているのを感じます。皆様の事業所におかれましても、希望に満ちた新年度のスタートを切られたこととお慶び申し上げます。弊社でも久しぶりに中途の社員が入社し、社内の雰囲気も少し緊張気味です。

さて、ロータリーでは4月を「環境月間」と定めています。

近年、私たちは異常気象や自然災害を目の当たりにする機会が増えました。かつては遠い国の出来事のように感じていた「地球温暖化」や「環境保護」という課題が、今や私たちの暮らしや事業継続に直結する、避けては通れない喫緊の課題となっています。

イラン情勢の悪化（2026年2月のイスラエル・米国によるイラン攻撃とそれへの反撃）は、日本への深刻な影響を及ぼしています。特にホルムズ海峡の封鎖や不安定化が、エネルギー自給率の低い日本に直撃しています。主な影響を箇条書きでまとめました。

1. エネルギー供給と光熱費への影響

- **原油価格の急騰:** ホルムズ海峡の通航停止により、原油価格が1バレル120ドル～140ドルまで高騰しています。これにより、日本国内の**ガソリン代や灯油価格**が大幅に上昇しています。
- **LNG（液化天然ガス）の不足:** カタールなどからのLNG供給が滞り、アジアのスポット価格が140%以上上昇しています。これに伴い、**電気代・ガス代の再値上げ**が避けられない状況です。

2. 物流・輸送コストの上昇

- **輸送ルートの迂回:** 中東航路を避けるための迂回（喜望峰経由など）により、輸送日数が数週間単位で延びています。
- **運賃の転嫁:** 燃料費（重油・ジェット燃料）の高騰により、海運・空輸ともに運賃が跳ね上がっており、あらゆる輸入商品の価格に転嫁されています。

3. 製造業・産業資材への影響

- **アルミニウムの供給難:** 中東地域は世界の精製アルミニウムの約10%を占めているため、自動車産業を中心に部品不足やコスト増が発生しています。
- **化学製品・プラスチック:** 原油・ナフサの供給断絶により、プラスチック製品や肥料などの原材料価格が上昇しています。

4. 医薬品の供給リスク

- **特定の薬剤の不足:** 抗生物質（アモキシシリン）や麻酔薬（エトミデート）など、中東近隣に製造拠点や原料供給元を持つ医薬品の供給停止リスクが高まっています。

5. 食料品・日用品への波及

- **輸入食品の値上げ:** 物流コスト増と肥料価格の上昇により、小麦、砂糖、食用油などの輸入食品が再び値上がり傾向にあります。
- **インフレの加速:** これら供給側の制約が重なり、日本国内ではスタグフレーション（景気停滞と物価上昇の同時進行）のリスクが懸念されています。

塗料業は現在、イラン紛争に伴うホルムズ海峡の封鎖により、**オイルショック以来とも言われる極めて厳しい局面**にあります。

工作機械や工具を扱う貴社の周辺（特に造船や機械製造が盛んな福山地域）でも、納期の遅延や価格改定の通知が相次いでいるのではないのでしょうか。

1. シンナー類の劇的な価格高騰（75%アップ）

最も深刻なのが、塗料の希釈に欠かせないシンナー類です。

- **主要メーカーの動き:** 日本ペイントなどの大手メーカーが、3月19日発注分からシンナー製品全般を一気に75%値上げしました。
- **理由:** 原料となるナフサの価格が3月上旬の2週間で約2倍に急騰したため、コストを吸収しきれない状況になっています。

2. 有機溶剤の品薄と供給制限（アロケーション）

塗料の主成分である溶剤の確保が困難になっています。

- **対象物質:** トルエン、キシレン、MEK（メチルエチルケトン）、メタノールなどが特に不足しています。
- **供給体制:** 多くの化学メーカーが「アロケーション（割当供給）」を実施しており、新規の大口径発注は事実上ストップしているケースが見られます。代替品の需要も集中し、そちらも入手困難になりつつあります。

3. 副資材（養生テープ等）への波及

塗料本体だけでなく、塗装現場に不可欠な副資材も直撃を受けています。

- **養生テープの不足:** 4月1日から、パイオランテープやP-カットテープなどの主要ブランドが20%~30%の値上げに踏み切りました。

- **在庫切れの懸念:** 原料のポリエチレンクロスの高騰に加え、粘着剤成分の欧州からの調達が遅延しており、ネット卸などでは「在庫切れ」が目立ち始めています。

4. 納期の大幅な遅れ

- **物流ルート of 混雑:** 中東航路の回避により、海外から届く特殊な顔料や添加剤のリードタイムが、通常より **2 週間~1 ヶ月以上** 延びています。
- **国内製造への影響:** 国内の石油化学プラント（エチレンセンター等）が原料逼迫により減産体制に入っており、国内産の塗料であっても予定通りの出荷ができない事態が発生しています。

超硬工具メーカー各社は、2025 年から 2026 年にかけて「資源の国内循環（サーキュラーエコノミー）」と「地政学的リスクへの対応」を背景に、リサイクルへの取り組みを一段と加速させています。

特にタングステン価格の高騰や供給不安を受け、単なる「廃棄物回収」から「戦略的資源確保」へとフェーズが移行しています。主な動向を整理しました。

1. 主要メーカーの具体的な動き

各社、独自の回収システムや野心的な目標を掲げています。

- **三菱マテリアル**

グループ会社の「日本新金属」を通じて、国内最大級のタングステンリサイクル体制を構築しています。2030 年に向けた中期経営戦略において、リサイクル原料の使用比率を大幅に引き上げる計画を推進しており、2026 年時点でも、回収したスクラップを再び高純度の原料に戻す「クローズドループ」の強化に注力しています。

- **サンドビック・コロマント**

「2028 年までに使用済み工具の 100% 買い戻し・リサイクル」という極めて高い目標を掲げています。回収した工具を自社工場で 100% 処理し、再び製品として供給する体制をグローバルで展開しています。

- **タンガロイ（IMC グループ）**

リサイクル活動の推進と並行し、「ヘッド交換式工具」へのシフトを加速させています。工具全体を廃棄せず、刃先のみを交換することで超硬材料の使用量そのものを削減し、環境負荷とコストの両面からアプローチしています。

- **京セラ**

「超硬リサイクルシステム」として、専用の回収箱を顧客に提供し、超硬だけでなくハイスやサーメットも含めた広範な回収・買い取りスキームを運用しています。

- **住友電工（住友電工ハードメタル）**

「グリーン」な社会の実現を掲げ、2026年1月からの製品値上げと並行して、リサイクルによる資源確保の重要性を強調しています。サプライチェーン全体でのカーボンニュートラル実現に向け、回収網の効率化を進めています。

2. 業界全体のトレンド：2026年の注目点

- **経済安全保障と国内還流**

日本機械工具工業会（JTA）は、貴重な資源であるタングステンスクラップの海外流出を防ぎ、国内で循環させることを最重要課題の一つに挙げています。2025年から2026年にかけての原材料価格のボラティリティに対し、メーカー各社は「リサイクル原料の確保」を安定供給の要としています。

- **再研磨との相乗効果**

リサイクル（再資源化）の前に、「再研磨・再コート」によって工具寿命を最大限に延ばす動きもセットで提案されています。OSGなどのメーカーは、再研磨ネットワークを強化することで、資源を無駄にしない「使い切るリサイクル」を推奨しています。

3. 今後の展望

今後は、ブロックチェーン技術などを活用し、回収された工具がどの製品に再生されたかを追跡する「デジタル・プロダクト・パスポート（DPP）」への対応も見据えた動きが出てくることが予想されます。

メーカー側は、単に「安く買い取る」のではなく、「持続可能なパートナーシップ」として、ユーザーや商社と共に資源を守る姿勢を強めています。

ロータリーにおいても、近年「環境の保護」が重点分野の一つに加わりました。これは、私たちがこれまで行ってきた人道的奉仕を、より持続可能なものにするために不可欠な視点です。

私自身の会長任期も、残すところあと3ヶ月を切りました。今年度のテーマである「良いことのために手を取り合おう」を最後まで皆様と共に形にしていきたいと考えております。年度末に向けたラストスパートの時期ではありますが、変化の激しい時代だからこそ、ロータリーの絆を大切に、楽しみながら奉仕の理想を追求してまいりましょう。

本日の例会が、皆様にとって新たな気づきと交流の場となることを祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。本日もよろしくお願いいたします。

【 幹 事 報 告 】



No.	内 容
1	第 2710 地区事務局より ・ 会員維持・退会防止についてのお願い ・ 2028-29 年度ガバナー予定者 決定のお知らせ ・ 財団室 NEWS 2026 年 4 月号 ・ 5/30(土) 第 2750 地区 第 46 回地区ローターアクト年次大会開催のご案内 ・ 「コーディネーターニュース」2026 年 4 月号 ・ 5/2(土) 「ローターアクト奉仕デー at MAZDA スタジアム」のご案内 ・ 2028-29 年度 ガバナー候補者推薦について ・ クラブリーダーシップ・ラーニングセミナー ご案内 ・ 2027-28 年度 青少年交換派遣学生募集について
2	福山北 RC より ・ 創立 55 周年記念例会の開催について (ご報告とお知らせ)
3	米山梅吉記念館より ・ 館報 春号

【プログラム情報】



《 会長エレクトラーニングセミナー 報告 》



2026-27 年度会長エレクトラーニングセミナー報告

26-27 会長 黒木 成光

先日、3月15日（日）に広島市で会長エレクトラーニングセミナーを受けて参りました。

まず、今年のRI会長の名前は オラインカ H. ババロラ氏と言うお名前です。ナイジェリア生まれで、ローターアクトの出身です。元アメリカのメジャー石油大手のシェルで働かれていて、現在は自分で会社を営まれております。

RI会長のメッセージ「CREATE LASTING IMPACT」クレイト ラスティング インパクト 「持続可能なインパクトを生み出そう」との事です。持続可能なインパクトとは、こういった意味なのか？「衝撃」「影響」？と言った日本語ではなく、「長期的な良い変化」「心に響く」を足した、「人々の心に響く長期的な良い変化」と捉えて下さい。すなわち、「自分が変われば、クラブも変わる。クラブが変われば、地区が変わる。地区が変われば地域社会を変えられる。地域社会が変われば世界で、地域社会で、自分自身の中で**持続可能なインパクト**を生み出す事が出来る」と言われております。

分かりやすく言いますと、あなたはクラブの中に、クラブは2710地区の中に、2710地区はゾーンの中に、ゾーンは国際ロータリーの中に、そうしてぐるっと回って国際ロータリーはあなたの中にいます。要するにあなたからクラブ、地区、ゾーン、国際ロータリーはすべて一つですよ。簡単に言いますと、どれもが欠けてはいけませんと言った意味です。

また、ババロラRI会長エレクトの三つの重点目標は ①エンドポリオの遂行 ②平和フェローの支援強化 ③世界で会員増強を2030年には125万人達成と掲げております。

ババロラ会長も会員増強には特に力を入れており、具体的な数字を掲げられておりますけれど、世界で2030年までにロータリー会員を現在の115万人から125万人へ増やす為に、地区とクラブは過去5年から7年間で最高時の会員数を調べ、その数を目標にするよう指示が出ております。当地区の過去5～7年間の最高は2019年の3,294人です。想定として各クラブが年間2～3人の会員増員を目指し、また、会員の退会防止に努めて欲しいとの事です。そうしなければ、ロータリー財団・米山記念奨学金への支援がこれから難しくなってしまいます。と、おっしゃってました。

次に次年度のガバナーに就任されます、脇 和也ガバナーを少し紹介したいと思います。脇ガバナーは山口県宇部市の出身で、宇部日報社という、新聞会社の会長であります。脇ガバナーは、まもなくロータリー歴30年を迎えるとおっしゃっており、ロータリーの原点はクラブの先輩から口が酸っぱくなるほど言われている職業奉仕だそうです。これは何処のクラブも一緒であり、のちほど具体的にお話をさせていただきます。

脇ガバナーの信条は「和と絆」with one heart（心は一つに）と歌っており、《地区運営方針》である「行動と実践の重視」と、この言葉を大切にされています。この基本姿勢は常日ごろから、地域社会や世界の人々のニーズを適格に把握し、またそれに努め、クラブや地区の奉仕活動においてのインパクト（持続可能な良い変化）を追求していき、その実現に向けて行動に移すことだと言われております。

す。その地区推進事項とは、先程言いました脇ガバナーエレクトの信条である、「和」の一つ親睦の深化。深化の字は深く化けると書きます。知識、技術、理解、物事の程度をより深堀し、高いレベルへ深める事を意味します。簡単に言えば磨き上げる事に深堀すると言った意味です。

次に、例会を充実させるために会員数の維持。特に新会員の居場所の確保・あらゆるハラスメントの排除・戦略的オープン例会の推奨・RLI への参加・マイロータリーの活用といった項目を掲げております。

次に「絆」の部分をお話させていただきます。

地域社会とのつながりの強化とポリオ根絶に向けた継続的な支援をする事。また、環境保全や平和構築のプロジェクト推奨や青少年との交流や健全育成の支援をしていきますとクラブ基盤の強化となります。

次にセミナーで受けた話をしたいと思います。まず「Action plan」とはどういった事なのか？

Action plan の目的は4つ優先事項があります。まず、Action plan 一つ目、

クラブ組織を強化することで、ロータリーの価値観を今後も守っていくこと。①奉仕事業の重要性を皆さんで再確認して、地域社会の問題やニーズを見直し、簡素化を検討する。②測定可能で末永く続く為に、良い変化を生み出す奉仕活動やプログラムを企画し、並びに実行する。③地区補助金やグローバル補助金の活用をする。

Action plan 二つ目、効果的な方策を用いることで、あらゆるレベルで組織を強化する。

①クラブを評価して、地域社会に魅力的なクラブになれる方法を学ぶ。②地域社会の新たなグループと協力するための奉仕社会や交流行事を実施する。③クラブの新たな魅力を発信する。④新たなタイプのクラブ設立を検討する。

次に、Action plan 三つ目、ロータリーに参加する全ての人々が有意義で、価値がある経験ができるようにする。①ロータリーを通じた人としての人間成長、そしてクラブの成長、その事でクラブでの経験に基づいて、情報交換する。②ロータリーと関わる全ての参加者から新しいアイデアを聴く機会を作る。③ロータリーに参加する事の価値を共有して、ロータリー活動への支援を高める。

Action plan 4 つ目、より大勢の人の暮らしと地域社会をより良くする。①地域社会での新しい奉仕事業のアイデアを募り、自クラブで生かすことにチャレンジする。②クラブ内の役職、手続き、活動内容について見直し、より効果的な方法を考える。③次期リーダーと協力して、継続的なクラブの発展、成功を導く様にとこのセミナーで教えを受けました。

次にロータリーのイメージ向上についてお話をします。

ロータリーの公共イメージ調査については、少し資料としては古いですが、(2018)年の調査では台湾では国民のほぼ90%がロータリークラブの名前と存在を知っております。次にインド、ブラジル、ケニアと続き日本は7位の認知度で30%を少し超えた数値となっています。今、私たちの直面している課題はまず、・地域社会での認知度の低さ、「何をしているか分からない」という声、・会員増員と高齢化への危機感、・公共イメージのPI (public image ロータリークラブによる公共イメージといいます)、ロータリーの奉仕活動やクラブ価値を正しく伝え、認知度と信頼を向上する活動になります。「おまけ」ではなく「生命線」として認識してください。そして、その公共イメージとは何か？まず、・自分達の自己満足な評価として、どうなのか？

次に、・社会からどう見られているか(客観的な信頼度)そして、・ロータリーブランドとは「約束」と「実行」の積み重ねとなります。

次に世間が思っている「認識のギャップ」を知っていただきます。

まず、・世界一、秘密を守る組織や経営者が加盟しているクラブとっていませんか？本当の・【実態】

は、ポリオ根絶への情熱と言う目標、【世間】専門職業人への奉仕活動。

⇒この情報の断絶を埋めるのがP I 委員会の役割になります。

次に、なぜ、P I 向上と言うものが、必要なのか？それを今から説明します。公共イメージ向上は「生存戦略」であり、別けて話すと

- ① 信頼の獲得 そうなると協力者が増える。会員減少や高齢化への危機感
- ② 認知度の向上 そうなると寄付が増える。
- ③ 魅力の発信 そうなると新会員が入会する。

・【好環境】PI 向上すると、それはクラブの活性化に繋がります。

認知度不足で、それを克服すると共感され、会員増強に繋がり、それを克服すると、奉仕の拡大に繋がります。

次に、全会員が「ブランド・アンバサダー」となり最大の広報媒体は「会員一人」が広告になります。

- ・バッジを付けている時のあなたは「ロータリーそのもの」となって下さい。
- ・30秒でロータリーの魅力を伝えられる「エレベーター・ピッチ」となり答える事
- ・「ロータリーって何？」と、問われると自分の言葉で答えられる事
- ・誇りを持ってバッジを着用し、その事に自覚を持っていただきたい。

次にRI が推奨する「世界を変える行動人」について

「何者か」ではなく「何をしているか」を語れるようになってください。

- ・people of action 「行動人」としてコンセプトし、
- ・私たちは「良い変化を生むために行動をする人」となっていただきたい。また、
- ・「奉仕の心」をどうビジュアル化するか？例えば、皆さんで集合写真を撮るよりも「活動中の真剣な表情」を撮る様にお願いします。

次に【戦略1】ストーリーを語る 感情を動かす「ストーリー」の力ともいいますが、まず、今までの写真記録の掲載を伝えます。今までは記録報告として、本を100冊寄贈しました。といった集合写真はダメ。そのストーリーで、本を手にした子の笑顔と変化を見る人達にどう撮影できるか「物語」が必要になります。何をしたかの裏にある思いを語る写真を撮る様にこれからは工夫をして下さい。

【戦略2】デジタル時代のSNS活用術

「温度感」をリアルタイムに届ける。・Facebook Instagram 活動の裏側や会員の想いを載せてください。

- ・「綺麗な写真」より「伝わる写真」・地域のフォロワーとの交流を大切にしてください。

そして、今日から始めるアクションプラン

1 クラブのSNS を週一回更新する。2 専門用語を一般用語に置き換える 3 写真の撮り方を一工夫する。

次に地域メディアとの連携

脇ガバナーもマスコミの人間ですから大変よく理解をされております。

まず、プレスリリースのコツで公共性と話題性を作ります。次に「地元記者」との顔の見える関係づくりをし、クラブの名前を言えば誰誰さんと言われるくらいの人脈づくりをしてください。イベント前ではなく、企画段階からメディアに相談をしておけば、イベントには、こういった事での新聞や経済紙に取り上げられる可能性が高くなります。

まとめとしまして、公共イメージが変われば、ロータリー自体が変わる。

1「外向き」の視点を持つこと。2 ストーリーで感動を共有すること。3 正しいブランドで信頼を築くこと。

こういった事を念頭に入れて、クラブのイメージアップに努めてまいりましょう。

この点に関しては、小林広報委員長は得意としますのでよろしくお願い致します。

次に、ロータリー米山記念奨学事業をしゃべらせてもらい、締めくくりたいと思います。

会員歴の短い方、例会でよく聞く米山奨学基金とはこの米山梅吉氏が作られた制度ではない事を知っていましたか？まず米山梅吉氏とは何者であって、何をしたかをこれから学んでください。簡単に説明しますと、米山梅吉氏は 1868 年生まれで、ポール・ハリス氏と同じ年に誕生しております。ダラス RC 会員の福島善三次氏キソジと米国で知り合い、1920 年に日本で最初のロータリークラブ、東京 RC を設立しました。また、米山氏は日本で初の信託会社、三井信託株式会社を創設した人です。

この、米山基金を作ったのは米山さんではありません。米山氏がお亡くなり、1952 年にその功績をたたえて、この制度が出来上がりました。この奨学金事業は民間では最大の国際奨学金制度であり、学部課程で月に 10 万円。修士・博士課程なら月に 14 万円といった奨学金がいただけます。こういった事を踏まえ、この奨学生には世界の架け橋になってもらいたいと強い思いから、米山さんの名前が付けられたと言います。一番に嬉しい事は、その奨学生が自分の国や地域に戻り、事業などで成功されて、今度は自らがロータリアンとなって、新しい奨学生を応援することだとお聞きしました。

次にロータリー財団の事を少し話して最後になります。

ロータリー財団の指名とは？なにか。ロータリー会員が、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保全に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を構築できるよう支援することです。この理念を基に、1917 年にアーチ・クラフ氏がアトランタ大会で構想を提案し、26 ドル 50 セントの最初の寄付から始まりました。現在はポリオ根絶や地域社会開発など、多岐にわたる大きな人道的プロジェクトを行う財団に成長しました。入会歴の浅い会員にはこのポリオとはなんぞや？と時間がある時に自分で調べておいてください。私の年度ではいきなり誰かに指名をして、説明をしていただこうと思います。

長くなりましたが、このラーニングセミナーを受けて一回で頭に入ることはまず、ありえません。福山西クラブ会員一同が、色々な媒体を基に、みんなで勉強をし、みんなで理解し、みんなでロータリーとは何かを共有し、自分が成長をしていければと思っております。

あの松下電器産業を創業した、松下幸之助さんもロータリアンであり、例会に行かれるときには秘書課に「勉強に行ってくる」とおっしゃっておりました。

脇ガバナーの紹介でも言いましたが、ロータリーの原点はクラブの先輩から口が酸っぱくなるほど言われた職業奉仕とはなんなのか。

私はこの問いの答えは、「**自己研鑽**」と思います。例会に参加して高い昼食を食べるのが目的なら、それで結構と思います。自己研鑽とは、自身の能力・知識・スキルを向上させるために、主体的に努力をする事です。その為に先輩会員から「職業奉仕」の原点の教えを請い、先輩会員も若い会員から今の時代に沿った事を学んでほしいと思います。その為に親睦があり、同好会があるのです。私もこれからロータリーで学ばなければと思います

本日はとても長い時間を取っていただき、誠にありがとうございました。

私からのラーニングセミナーの報告とさせていただきます。

【その他報告】



《各種表彰等》

【誕生日】



《4月10日生まれ 黒木 成光 さん》

《4月22日生まれ 吉山 聡 さん》

《4月25日生まれ 内山 春夫 さん》

【皆出席】



《連続3年 渡邊 祥子 さん》

【クラブ活動報告】



《サバラン会》

日時 : 4月3日(金) 19:00~

場所 : 酒肴峰屋



**UNITE
FOR
GOOD**

2025-26 年度 RI 会長メッセージ